

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	52	事業名	海外観光プロモーション実施経費		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	観光客誘致宣伝経費			中事項	海外観光プロモーション実施経費		
事業開始年度	平成 24 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等()				
							部課名	観光部国際観光課
							電話番号	0138-21-3454

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】	海外に向けて積極的に函館市の観光の魅力をPRし、さらに多くの外国人観光客を誘致することによって、本市の基幹産業である観光産業の活性化を図るため。
	【必要性】	近年、本市の観光入込客数は回復傾向にあるものの、今後、北海道新幹線開業等の特殊要因を除くと国内観光客の入込客数の大幅な増加が見込めない中、さらなる観光客の増加により本市の基幹産業である観光産業の活性化を図るためには、近年、大幅な増加を見せている外国人観光客の誘致が必要不可欠であるため。
内容	外国人観光客のさらなる誘致を図るため、海外プロモーション(トッププロモーション、各国旅行博・FITイベント等への参加)、海外航空会社・旅行会社等の招へい事業を実施する。平成27年度当初予算においては、近年経済成長著しい東南アジアにおいて随一の親日国であるタイから効果的な誘客を図るため、現地在住の専門家に観光コーディネーター業務を委託し、現地情勢に関する調査・報告やプロモーション実施時の補助業務を実施してもらう。 ※今年度は、各国FITイベント等への参加等は、平成26年度2月補正予算(平成27年度繰越明許費)、トッププロモーション・招へい事業については、平成27年度6月補正予算により実施予定。	

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		10,825	8,274	11,083	12,905	1,870	0
特定財源	国・道						
	市債			11,000	12,900		
	その他						
一般財源		10,825	8,274	83	5	1,870	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合もある。	職員	人工 0.60 4,505	人工 0.60 4,331	人工 0.80 5,832	人工 0.80 5,832	人工 0.95 7,136	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	人件費(B)	4,505	4,331	5,832	5,832	7,136	0
総事業費計(A+B)		15,330	12,605	16,915	18,737	9,006	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
旅行博等への参加における観光PRの実施回数	回	10	8	7	
旅行会社等との商談会の実施回数	回	2	3	3	
旅行会社等招へい事業における事業者の招聘数	者	7	6	14	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	函館市における訪日外国人宿泊客数
------	------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	事業を実施した結果、近年の諸外国における北海道ブームや円安傾向によるインバウンドの好調も要因となり、函館市における訪日外国人宿泊客数は、平成24年度 約178千人、平成25年度 約288千人、平成26年度 346千人と増加している。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	来函観光客に占める外国人観光客の割合は増加しており、多くの市民が就業している観光産業を支えるため外国人観光客の誘致は重要。また、外国人観光客への「おもてなし」のために市民の関与も必要不可欠である。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	他の団体によるプロモーションに参加したり、VJ地方連携事業を活用するなどして市単独での事業実施と比較してコストの低減に努めている。なお、業務の外部委託、誘致のターゲットとする地域の選択・集中などによりさらなるコストの節減の可能性も考えられる。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性	
			受益者負担の適正度		評価対象外		
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	訪日外国人宿泊者数という定量的な指標で増加が確認されており、事業の成果は達成されている。また、外国人観光客の誘致のためには、海外に向けた積極的な函館市のPRという手段が最適である。	執行方法	外部委託の可能性	実施していないが、可能	海外に支店を有する旅行代理店等にプロモーション業務を委託して実施することも考えられる。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られていない(今後改善の余地あり)	
評価結果から明らかになった課題事項など		事業実施方法の工夫によりコスト低減の可能性が残されている。					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	当面現状維持	(経費について) より効率的な事業の実施方法を検討し、コストの低減に努める。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--